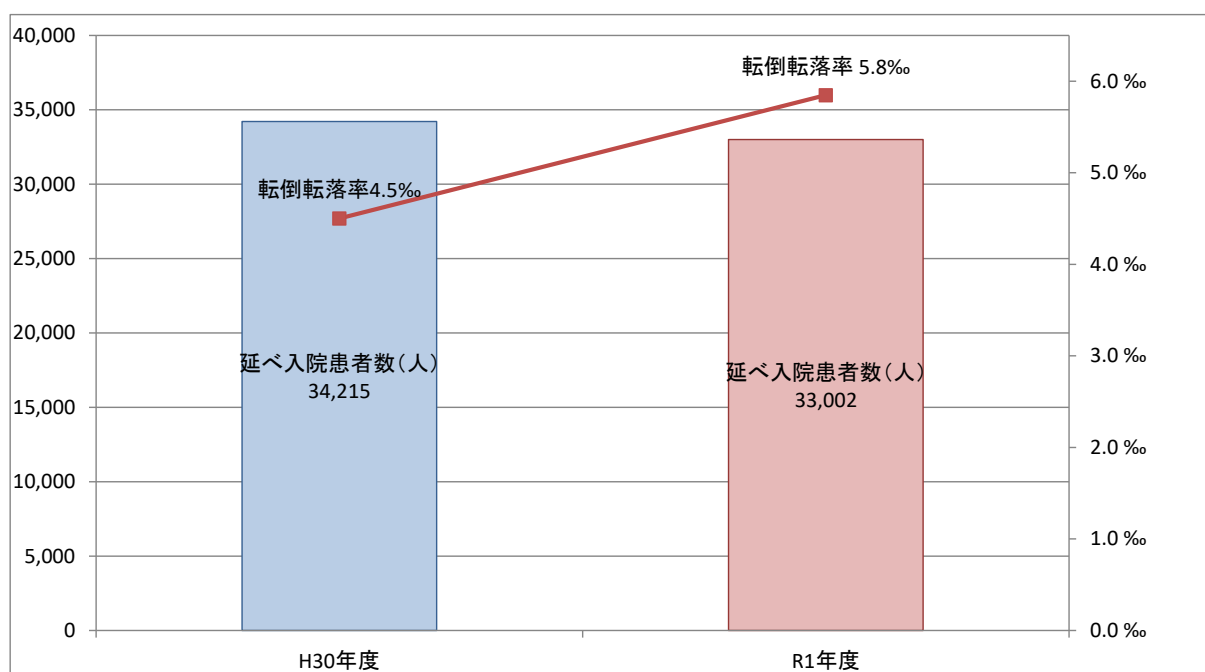


## インシデント・アクシデントレポート 年度別集計

※算出期間は4月～9月

	インシデント	アクシデント	合計	転倒	投薬関連	検査レントゲン	療養上の世話	指示出し指示受け	チューブ関連	診療情報管理	処置関連	医療機器設備関連	家族患者説明	その他
30年度 4月～9月 (0レポート)	684 (178)	5	689	162 (8)	201 (73)	59 (17)	69 (5)	37 (12)	31 (3)	8 (3)	19 (6)	37 (19)	6 (2)	58 (23)
31年度 4月～9月 (0レポート)	897 (313)	10	907	211 (18)	293 (103)	78 (50)	106 (38)	33 (21)	40 (3)	34 (32)	36 (6)	31 (16)	5 (3)	40 (23)



転倒・転落の指標としては、転倒・転落によって患者に傷害が発生した損傷発生率と、患者への傷害に至らなかった転倒・転落事例の発生率との両者を指標とすることに意味があります。

転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくとも、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡するとともに、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。

こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

※調整率 (‰)パーミル : 1000分の1を1とする単位